

令和5年度 野洲市の教育

令和5年(2023年)5月

滋賀県 野洲市教育委員会

も く じ

■ 令和5年度 野洲市の教育方針	1
はじめに.....	1
1. 令和4年度をふりかえって.....	3
2. 令和5年度の具体的な施策.....	5
資料 野洲市教育大綱(令和3年度～令和7年度).....	8
資料 野洲市教育振興基本計画第3期施策体系図.....	9
資料 野洲市教育振興基本計画の位置付け.....	10
■ 主な事業の概要	11
『子育て・教育・人権』.....	13
『産業・観光・歴史文化』.....	15
■ 資料編1 小・中学校における働き方改革の取組方針	17
■ 資料編2	23
野洲市の概要	25
1. 市の沿革.....	25
2. 位置・地勢等.....	25
3. 人口・世帯.....	26
4. 市の面積.....	26
5. 市役所の位置.....	26
学校・園の概要	27
1. 幼稚園.....	27
2. 小学校.....	28
3. 中学校.....	29
教育委員会の仕組みと仕事	30
1. 教育委員会の仕組み.....	30
2. 教育委員会の仕事.....	31
3. 教育委員会の組織図.....	31
4. 教育委員会の組織表.....	32
野洲市教育委員会の沿革	34
■ 元気な学校・園づくり 令和5年度の幼稚園・小中学校の取組	39
1. 幼稚園.....	41
2. 小学校.....	51
3. 中学校.....	59

令和5年度 野洲市の教育方針

はじめに

本市では『人権のまち：野洲』を合言葉に人権教育を土台に掲げて学校・園の教育を進めてきました。しかし、ここ2年間で二度にわたる小学校教員による「いじめ事案」が起きました。絶対にあってはならない事態です。そこで、今年度は人権教育を進める側の教職員が、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障する人権教育を再構築することが今こそ求められています。

また、本市は人権教育の上に子どもたちの個々のニーズに合わせた特別支援教育にも力を入れてきました。多様な背景や重い課題を背負わされている子どもへのかかわり、あるいはさまざまな考えをもつ保護者との連携や「寄り添い」をすべく、さまざまな支援策や相談体制を作ってきました。しかし、この度の不祥事は、その組織的な弱さの露呈であると考えています。

これらのことから、個々の教職員だけでなく、学校・園、市教育委員会も含めた組織としての教育改革・再構築が必要であると考えています。

若手教員の成長

「コロナ禍」も4年目を迎えています。さまざまな制約のもとでも、子どもたちはたくましく成長しています。それと同時に教職員も育っています。

以下は、いわゆる「課題の重い子」とのかかわりの中で、自身も成長していた若手教員（27歳）の文です。

私が学んだこと

この一年間で『子どもを知る』『思いを受け止め寄り添う』ということ学んだ。教師が子ども一人ひとりのことを知り、理解できないとかかわり方がわからず一人ひとりに寄り添うことができないと痛感した。私は最初子どもを信じることができなかった。しかし、相手を知ろうとかかわり続けることで子どもの本当の気持ちに気づき、子どもを信じることができた。そして、私は子どもたちが求めていることがわかり、寄り添う行動ができるようになった。すると、私を拒絶していた子が少しずつ心を開いてくれるようになった。あまり自分のことを話そうとしなかった子が、悩みを少しずつ話してくれるようになった。寄り添い続けることは、子どもの見えない部分に目を向け正しく知り、本人の思いに耳を傾けることが一番大事なことであり、決しておろそかにしてはいけないと感じた。私自身が見本となるようなかかわり方を示し、いろいろなかかわり方を子どもたちに知ってほしい。そして、

『子ども一人ひとりに寄りそってじっくり話を聞く』ことをこれからも大切にしていき、個性を認め合える学級づくりにいかしていきたい。

野洲市の教育の3つの視点

「新型コロナウイルス」との共存が模索されています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や台湾をめぐる米中の対立によって世界は分断され、エネルギーや食糧の安全保障が脅かされています。将来の野洲を担う子どもたちがこうした激動する国際情勢の変化にも目を向けて、たくましく生き抜いていくためには、教育が果たす役割は極めて重要だと言えます。そして、それは学校・園の教員だけでなく、野洲市の教育にかかわるすべての者の使命であると考えます。

令和5年度、野洲市では次の3つの視点で教育を進めて行きます。

まず1点目は、学校教育を中心として、子どもの「生き抜く力」を育てます。今日、子どもたちを取り巻く社会は目まぐるしく変化し、価値観の多様化が一層進んでいます。そんな中でたくましくしなやかに人生を切り開いていくためには、学力はもとより高い自尊感情や豊かな情操、それを支える健康な体が求められます。本市では、こうした資質や能力を学校・園が協働して育てていきます。

2点目は、学校と家庭、地域が一体となって「子どもの育ち」を支援します。「学校の子は地域の子」です。子どもたちは、学校や園だけでなく、家庭や地域の皆さんに支えられて成長していきます。そこで、各学校のコミュニティ・スクール化を進め、学校を核として家庭や地域が相互にパートナーとして子どもの成長を支えていきます。

3点目は、「生涯学習のまちづくり」を進めます。だれでもどこでも学び合い、生涯にわたって成長し、心豊かになれる社会をめざします。また、その成果を人とのつながりや地域の活性化にも生かして、教育の面から野洲市のめざす「住んでよかった」「住んでみたい」「住み続けたい」まちづくりにつなげていきます。

1. 令和4年度をふりかえって

教育委員会では、本市の『野洲市総合計画』や『野洲市教育大綱』のもとに、『野洲市教育振興基本計画』（令和3年度～令和7年度）を定めています。ここでは、基本理念「愛と輝きのある教育のまち・野洲」のもと、一人ひとりが大切にされ、大人も子どもも学びあうひとづくり・まちづくりを目指してきました。

(1) 学校・園

①人権教育・特別支援教育の再構築

二度にわたる「いじめ事案」を受けて、本来人権教育を進める側の教職員が、すべての子どもたちの学ぶ権利を保障する人権教育を再構築することが今こそ求められています。そして、子どもや保護者の多様なニーズに対応するための教職員の教育・相談スキルの向上や、多様な課題をもつ子どもたちが安心して学べる学級経営力の向上、集団づくりといった課題が見えてきています。

②不登校の課題

各学校では、さまざまな相談体制、放課後や別室での対応、通級指導教室の拡充などでその支援に取り組んでいます。また、全市的には適応指導教室やふれあい教育相談センター、発達支援センターの相談業務の拡充、さらに「家庭訪問型学習支援事業」も行っています。

これらに加えて、ICTにより家庭で授業に参加できる環境が整いました。これも不登校生の学習支援の一つになっています。

③学力の二極化

昨年度の「全国学力・学習状況調査」では、本市の児童生徒は全国並みかそれを上回る結果となっています。しかし、全国や県との平均正答率の比較だけでは見えない課題もあります。学力面では、「複数の資料を読み解いて自分の考えをまとめ、根拠を示してそれを表現する力」です。また、生活課題は、特に読書習慣です。本をよく読む子とまったく読まない子との二極化がすすみ、ゲームやインターネットを長時間している割合が高くなっています。これらのデータから、本市児童生徒の家庭や地域での過ごし方にも課題があり、市内共通の課題です。さらに、意欲や創造性、協調性や忍耐力といった「非認知能力」の獲得にも課題が見えます。

④教職員の資質向上

先述のいじめ問題について検討していただいたいじめ対策専門委員の先生によると、「本市の先生は楽しく授業を行っている。」と言われます。「ただ、その楽しさの中に時として『いじり』が入ってはいないだろうか？」とも指摘されています。授業での教員の児童生徒への『いじり』が、いじめに

発展してはいないか、今一度その授業を見直す必要があると考えます。

⑤学校 ICT（情報通信技術を活用した教育）

最近では、授業のどの場面で使うことが効果的なのか、児童生徒にタブレット端末で何をさせるのかについての検証が必要になってきています。また、ネットいじめの問題や情報機器の正しい使い方についても学習を進めなければなりません。子どもたちがネットモラル等の人権を意識してインターネットと正しくつきあう方法を学ぶ機会を増やす必要があります。

⑥施設面の更新

市内のすべての学校・園の耐震化は完了しています。令和4年度は、中主小学校の旧館棟改築工事を進めてきました。また、老朽化している学校のプールのあり方も検討を進めていますが、野洲小学校プールは解体し、駐車場整備を行いました。

そして、北野小学校においては増築等設計業務に着手し、これから長寿命化事業を行っていきます。

（2）家庭や地域

①家庭教育の推進とその支援

家庭や地域は子どもの学びの土台である「非認知能力」を育む大切な場です。しかし、地域のつながりの希薄化や核家族化の進展、保護者の就労の不安定化による生活の厳しさなどから、地域で孤立した家庭や教育力が十分に整わない家庭もあります。こうした状況の下で、さまざまな教育課題が出てきます。家庭が子どもの「居場所」となり、地域の「繋がり」が豊かになると、こうした教育課題は随分緩和されます。

②地域の教育力と人材育成

「地域の子どもは地域で守り育てる」という考えの下、地域や学校の様々な活動を支えている人たちの力を結集し、地域と共にある学校づくりのため、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を進めました。

今後も学校と地域の連絡・調整を担う人材の発掘を行いながら、こうした取組の推進を図ることはもちろんですが、一方で活動を担う人材の育成も必要です。

（3）生涯学習・生涯スポーツ

①生涯学習

市内における様々な場所において、参加者が主体となって多様なテーマを楽しく学べる、仲間づくりの場の提供を目指し、「野洲市生涯学習カレッジ」を実施しました。今後も年齢やニーズに応じた学習機会の充実を図るとともに、各個人がその学習の成果を地域で活かせる環境づくりを進めていく必要があります。

②子どもの読書活動推進

「第3次野洲市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの身近に適切な本がある環境をつくるために、小・中学校での学級文庫用図書セット「としょかんBOX」の巡回事業を継続しています。

③生涯スポーツ

市民スポーツ活動の普及と促進を支援するため、登録団体に継続して学校体育施設の開放を行いました。また、総合型地域スポーツクラブ2クラブの特色ある活動を支援し、スポーツの楽しさが実感できるクラブの育成に努めました。

令和7年に滋賀県で開催されます第79回国民スポーツ大会及び第24回全国障害者スポーツ大会（愛称：『わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ』）に關しまして、昨年7月に滋賀県での開催が正式に決定されたことを受け、本市での競技会の開催準備・運営を本格的に進めるため、これまでの準備委員会から『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会』へと改組しました。

今後は、本実行委員会により、大会開催に向けて、市が一体となった取り組みを進めていきます。

④文化歴史

文化財に関わっては、江戸時代初期の徳川将軍の上洛御殿である国指定史跡「永原御殿跡」は、保存整備に向けて4つの事業（土地購入、発掘調査、整備基本設計、永原御殿跡フォーラム開催等の公開活用事業）を、地元の皆様と協働で取り組みながら進めてきました。

博物館では、旧野洲郡を中心とした宗教文化をテーマとする展覧会を、滋賀県立琵琶湖文化館や守山市と連携し開催しました。

2. 令和5年度の具体的な施策

（1）子どもの「生き抜く力」を育てます

～学校教育を中心として～

- ①小・中学校の道徳教育や人権教育の充実に努め、いじめや差別を許さない仲間づくり、集団づくりを進めます。
- ②児童生徒のいじめや不登校、問題行動、また、教職員の不祥事や体罰問題などを未然に防ぐため、教職員研修の充実に努め、学校・園の初期対応や組織対応の強化に努めます。その一環として、学校支援員とスクールロイヤーを配置します。

- ③スクールソーシャルワーカーとそれらを指導・統括するスーパーバイザーを配置し、関係機関と連携しながら、家庭教育環境の調整・支援に努めます。
- ④教室が密室化しないためにも、小学校高学年での専科授業、交換授業を促進します。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動によって、学校に地域の人材が入っていけるようにしていきます。
- ⑤教育研究所は若手教職員の授業改善や学級集団づくりを個別に支援し、指導力と授業力の向上に努めます。
- ⑥全国学力・学習状況調査では、本市の児童生徒の読書にかかわる状況について、「読む子」と「読まない子」の二極化の進行が明らかになっています。そこで、学校の実態に応じたさまざまな読書活動を推進していきます。
- ⑦学校・園の特色ある取組を支援する「元気な学校づくり事業」を進め、子どもたちが将来の夢や希望をもてる体験活動やキャリア教育などを推進します。また、その成果を市民に積極的に発信していきます。
- ⑧ICT 機器の活用については、授業での目的に応じた使い分けができるように検討を進めていきます。そのための各校の情報共有や教員の研修体制を強化していきます。
また、児童生徒の ICT 機器の使用頻度が増えるほど、大人の想定を超えたネットいじめ等の問題が起こる可能性も増えると思われれます。そこで、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育を行っていきます。
- ⑨学校施設の長寿命化を図るべく、中主小学校については、新館棟の大規模改修工事に着手していきます。また、北野小学校の大規模改修等の設計業務に継続して取り組みます。さらに、体育館照明 LED 化や特別教室空調整備設計などを進めていきます。
- ⑩学校給食センターの施設改修工事に着手し、安全安心な学校給食を安定的かつ持続的に提供できるよう進めていきます。

(2) 子どもの「育ち」を支援します

～学校・家庭・地域が一体となって～

- ①家庭や地域と連携し、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた啓発を進めます。また、その一環として「愛の声かけ運動」などのあいさつ運動を推進します。
- ②学校・園や家庭とふれあい教育相談センターとの連携をさらに深め、学校・園生活に関する悩みや課題の解決に向けた取組を充実します。
- ③野洲市青少年育成市民会議を中心として「地域の子どもは地域で守り育てる」機運を高めるとともに、守山野洲少年センターをはじめ関係団体と連携・協力し、青少年の健全育成に努めます。

- ④心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、各コミュニティセンターを中心に地域の人々が協力して実施する「地域子ども教室」への支援を続け、子どもたちの体験学習や地域住民との交流活動等の取組みに努めます。
- ⑤未来を担う子どもたちの豊かな成長を「地域総がかり」で支えるコミュニティ・スクールを小・中学校で導入していきます。
子どもたちに必要な学習や活動などについて保護者と地域、学校が一緒になって、知恵を出し合い、学校運営の方針を決めながら「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。
- ⑥家庭教育に悩みや不安を抱える家庭への訪問、相談など子育て家庭への支援を行います。そのため、地域や学校のことをよく知っている「家庭教育支援員」を新たに配置します。児童生徒の登校支援などを行い、家庭の環境や、学校の状況に応じた活動を実施していきます。

(3) だれでもどこでも学びあえるまちをつくります
～誰もが生涯にわたって成長し心豊かに～

- ①市民の誰もが、いつでも、どこでも、自らの意志と選択に基づいて、学習を実践でき、その成果が適切に生かされる社会の実現を目指して生涯学習施策を進めます。その取組として、市民に学習機会を提供するため、出前講座の実施や生涯学習カレッジを開催し、生涯学習を推進します。
- ②図書館では、市民の必要とする資料と情報を提供するための機関として、新鮮で魅力ある資料を収集し市民のニーズにこたえます。図書館利用の機会を広げる取組みの一つとして、予約資料を受け取ることのできる機器と返却ポストを野洲駅に設置します。
また、家庭、地域や学校・園などが協力して読書環境の整備に向けて重点的に取組むため、「第3次野洲市子どもの読書活動推進計画」に基づき、学級文庫用図書セットの巡回事業を継続します。それとともに、子どものためのよりよい読書環境をつくる方法を検討していきます。
今後も学校図書館の運営にあたっては、司書教諭が十分な役割を果たすことができるよう、学校図書館司書の配置についても検討します。
- ③国史跡「永原御殿跡」は、地域と協働して 1. 本丸の公有化、2. 整備事業、3. 本丸土塁の発掘調査、4. 公開活用事業を継続します。
- ④博物館では、地域の歴史や文化を時節にふさわしいテーマにより、わかりやすく紹介する展覧会を開催します。また、老朽化した空調設備の更新業務を進めます。

野洲市教育大綱

【令和3年度～令和7年度】

野洲市は、『多様な人々と多彩な自然が調和した、個性輝くにじいろのまち』をめざす都市像として掲げ、「多様な人々と自然をはじめとする多彩な地域資源がそれぞれに輝きながら調和する、笑顔あふれる都市」の実現をめざし、「協働のまちづくり」「SDGsの実現」の基本姿勢のもと、「子育て・教育・人権」など5つの分野ごとに基本方針を定め、「住んでよかったまち」「住んでみたいまち」「住み続けたいまち」をめざしたまちづくりを進めています。

市民一人ひとりが知恵や力を出し合い、家庭、学校、地域、企業、NPO・市民団体等がそれぞれの責任と役割をしっかりと果たすとともに、主体的に取り組ながら一体となって子どもたちが安心して学べる教育環境を整え、未来を担う頼もしい人づくりを柱に教育振興のまちづくりを進めます。

基本理念

愛と輝きのある教育のまち・野洲

～一人ひとりが大切にされ、おとなも子どもも学びあうひとづくり・まちづくり～

基本目標

I 子どもの「生き抜く力」を育てます。

～学校教育を中心として～

1. 豊かな心と健やかな体の育成
2. 確かな学力の育成
3. 特色ある学校経営

II 子どもの「育ち」を支援します。

～学校・家庭・地域が一体となって～

1. 子育て・子育て支援の充実
2. 青少年の健全育成
3. 安全・安心な教育環境づくり

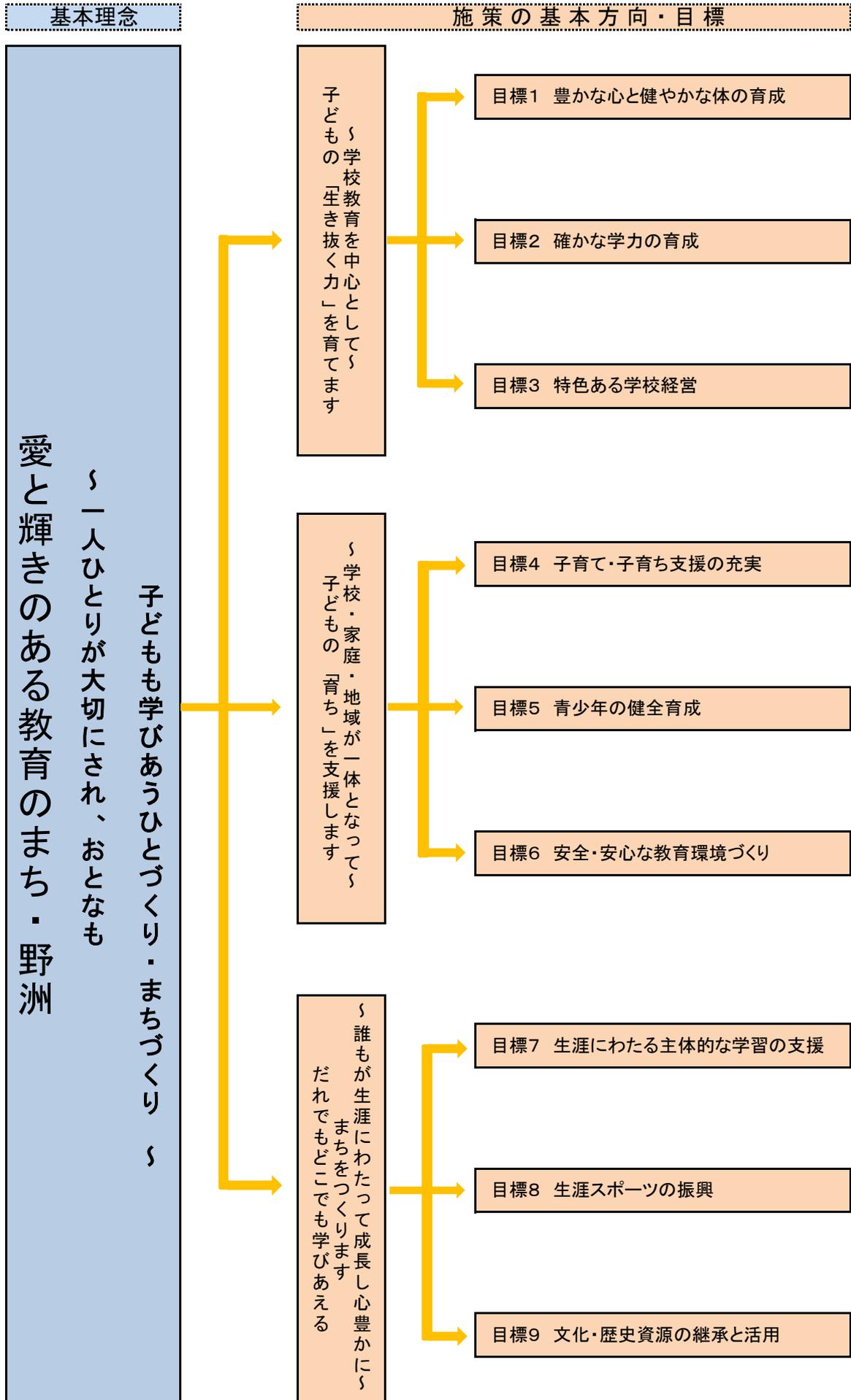
III だれでもどこでも学びあえるまちをつくります。

～誰もが生涯にわたって成長し心豊かに～

1. 生涯にわたる主体的な学習の支援
2. 生涯スポーツの振興
3. 文化・歴史資源の継承と活用

野洲市教育振興基本計画 第3期 施策体系

施策体系図



主な事業の概要

令和5年度予算資料より教育委員会の事業を抜粋

令和5年度に取り組む主な事業の概要

『子育て・教育・人権』

学校教育の充実

⑧ いじめ等対策事業 予算額 1,467万4千円



いじめが認知された後に行われる学校の事実調査や指導などを支援することはもちろん、いじめ、虐待、いじめ予防教育、法令に基づく対応など弁護士（スクールロイヤー）に法務相談ができる体制を整備します。

また、スクールソーシャルワーカーやスクールソーシャルワークスーパーバイザーを配置し、子どもの置かれている学校・家庭・地域等の「環境」に対して関係機関と連携し虐待をはじめ子どもの生活環境調整に努めます。



授業風景



別室授業支援の様子

⑨ 特別支援教育の充実、不登校対策事業

予算額 6,706万6千円（前年度：6,468万4千円）



【特別支援教育の充実】

障がいのある児童及び生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援を行うため、適正なコーディネーター加配や支援員の配置、巡回相談員の派遣等を行います。

【不登校児童生徒への支援】

不登校児童及び生徒への支援を図るため、心のオアシス相談員やスクーリング・ケアサポーターを学校に派遣して、不登校の未然防止や支援の充実を図ります。

また、児童生徒の登校の支援などを行う、家庭教育支援員を新たに配置します。

⑧ 小中学校施設整備事業

予算額 5億2,580万4千円(前年度:11億2,461万1千円)

4 質の高い教育を
みんなに



中主小学校の新館棟
大規模改修工事、並び
に北野小学校の校舎
増築及び大規模改修
に向けた設計業務等を
進めます。

また、特別教室への空
調整備など野洲市の未
来を担う子どもたちの快
適な学習環境の確保の
ため、施設整備に取り組
みます。



中主小学校大規模改修工事イメージ図

⑨ 学校給食センター改修事業

予算額 6,966万円(前年度:3,729万円)

4 質の高い教育を
みんなに



12 つくる責任
つかう責任



学校給食センター

学校給食センターは、平成19
年から稼働し、15年以上が経過
しています。

安心安全な給食を提供するた
めには、施設を適正に運営する
必要があり、老朽化が進んでい
る大型調理機器や空調設備等の
改修工事を実施します。

⑧ 永原御殿跡保存整備事業

予算額 1億1,502万9千円(前年度:(前年度8,817万円)



国史跡永原御殿跡の保存整備と公開活用を図るため、本丸内の公有化や発掘調査を進めます。また、整備基本計画に基づき、令和5年度から本丸内の一部の実施設計と整備工事に着手します。

あわせて、地元の江部自治会や祇王学区との協働により、発掘調査体験教室やフォーラムなどの公開活用事業を開催し、市民への情報共有を図ります。



国史跡永原御殿跡整備イメージスケッチ

学校における働き方改革の取組方針（概要版）

～ 教職員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、 <令和5年度>
共に元気で生きいきと活動できる学校にするために～

野洲市教育委員会

目 標

○超勤時間月あたり45時間以内（年間360時間）を目指しつつ、月あたり80時間を超える教員がなくなるようにします。

目標達成のための共通基準

<勤務時間関係>

- ①平日は午後7時までの退勤を目指します
- ②週に1回以上の定時退勤日を設定
- ③夏季休業に1週間以上の集中休暇を設定

<部活動関係>

- ①活動は平日2時間以内、休日3時間以内
- ②朝練習は原則なし
- ③休養日は週2日以上（平日1日・休日1日）
※試合等の場合は例外だが、別に休養日等を設ける

具体的な取組内容

(1) 学校業務の見直し・効率化

- ①大型モニターとデジタル教材活用（H30～）
- ②オンライン決済システムの導入（R1～）
- ③校務支援システムの導入（R2～）
- ④メール配信ファイル添付機能検討（R5～）

(2) 部活動の教員負担軽減

- ①適切な活動時間と休養日の設定（H30～）
- ②部活動の外部指導者の活用
→部活動外部指導者、指導員の配置検討（R2～）
- ③部活動地域移行準備検討会開催（R5～）

(3) 専門性を持った多様な人材の活用

- ①市費支援員、SSW（社会福祉専門員）の配置継続
- ②事務支援員（スクールサポートスタッフ）の配置継続（H30～）
- ③家庭訪問型学習支援事業の継続（R2～）
- ④特支多人数アシスタント配置（R4～）

(4) 家庭や地域の力を生かす取組

- ①学校応援団による地域の人材活用
- ②地域学校協働活動推進事業の継続（R1～）
- ③コミュニティ・スクール準備委員会設置（R4）
- ④コミュニティ・スクール運営（R5～）

☆国・県への要望

教職員定数の改善、専門職の県費配置

☆地域・家庭への発信と理解・協力

働き方改革の取組についての発信・説明

(5) 教職員の勤務時間管理

- ①超過勤務時間調査の継続
- ②定時退勤日等による退勤促進の取組
- ③教職員のタイム・マネジメントと意識改革

(6) 学校での指導・運営体制の充実

- ①教職員の共通目標による「チーム学校づくり」
- ②子どものつながりや力を生かした学校づくり
- ③校務分掌組織の改善や会議等の効率化

令和5年度 学校における働き方改革の取組方針

野洲市教育委員会

1 策定の趣旨

学校を取り巻く環境は複雑化・多様化するとともに、学校が担う役割は拡大し、教職員の負担はますます増加しています。これまでの学校教育は、教職員の熱い思いや献身的な取組に支えられてきた面があります。しかしながら、教職員の長時間にわたる時間外勤務の常態化している現状があります。(下表)

- ＜8ヶ月（R2年度4月～11月）の野洲市調査結果の平均＞
- ①月あたり超過勤務時数の教職員の平均は約50時間
 - ②月あたり80時間以上超過勤務の教職員の割合は18%

このような状況は、教職員の健康を損なう恐れがあるとともに、子どもたちの教育にも大きな影響を及ぼすことが考えられます。こうした教職員の長時間勤務を改善していくことが喫緊の課題であり、県が「学校における働き方改革取組方針」を検討し策定しました。本市でも、この方針を受け、教職員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、子どもと教職員が共に元気でいきいきと活動できる学校を目指し、具体的な取り組み方針を策定するものです。

2 目標

市内小中学校教職員の月あたり超過勤務時間について
月あたり45時間以内（年間360時間以内）を目指しつつ、月あたり80時間を超える教員がなくなるようにします。

3 目標達成のための共通基準

（1）勤務時間関係

- ①平日は午後7時までの退勤をめざします。
- ②週に1回以上は定時退勤日を設定します。
- ③夏季休業期間に、1週間以上の集中休暇期間を設定します。

（2）部活動関係

- ①休養日は週2日以上（平日1日と土日祝日のうち1日）とします。
- ②活動時間は平日概ね2時間以内、土日祝日概ね3時間以内とします。
- ③朝練習は原則行いません。

※ただし、大会や練習試合等の場合は上記の限りではありませんが、その場合については、別に休養日を設けるなどの工夫をします。

4 具体的な取組内容

(1) 学校業務の見直し・効率化

- ①平成30年度に設置・導入した校務用（授業兼用）パソコン、大型モニター、指導用デジタル教科書を有効活用し、授業改善を進めます。
- ②指導要録や出席簿等のデジタル化を進め、業務の効率化を図ります。
 - 学齢簿連携システム運用開始（令和3年1月～）
 - 保健管理関係システム一部運用開始（令和3年4月～）
 - 学校徴収金・備品管理システム運用開始（令和3年4月～）
 - 小学校成績管理システム運用開始（令和2年度）
 - 中学校成績管理システム運用開始（令和3年度）
- ③令和元年度に導入した口座振替等のオンライン決裁システムを有効活用し、人為的ミスを未然に防ぎます。
- ④各校で、会議の効率化や精選、教材や資料のデジタル化と共有化を図り、文書や教材作成の効率化を進めます。
 - 保健調査票・アレルギー疾患確認票・結核健康診断問診票・運動器検診問診票を「保健調査票」1枚にまとめて一括管理開始（令和4年度）
- ⑤メール配信システムのファイル添付機能を検討し、ペーパーレス化を進め、業務の効率化を図ります。

(2) 部活動についての教員の負担軽減

- ①平成30年度に設定した活動時間と休養日を順守します。
- ②平成31年3月策定の部活動方針に則り再度部活動について見直します。
- ③学校の実態に応じて、部活動の外部指導者の活用を進めます。
 - 部活動の外部指導者、市による部活動指導員の配置を検討する会議を開催（令和4年度）
- ④部活動の地域移行を検討します。
 - 部活動の地域移行を目指した準備検討会の開催（令和5年度）

(3) 専門性を持った多様な人材の活用

- ①市費による学校教育指導員や支援員等の配置を継続します。
 - 教職員の事務負担軽減のため、スクール・サポート・スタッフを令和3年度も全小中学校に継続配置します。
 - ②事務職員の積極的な校務運営への参加を進めます。
 - ③令和2年度から開始した家庭訪問型学習支援事業により、組織的な不登校児童生徒支援を図ります。
- ※特別支援学級多人数アシスタント配置（県・基準人数緩和7人→6人）
（令和5年度）

(4) 家庭や地域の力を生かす取組

- ① 学校応援団事業による地域人材の活用を進めるとともに、学校と地域・家庭との連携を深める運営組織設置準備を始めます。
- ② 働き方改革の取組について、文書や説明会等で保護者や地域へ発信します。(部活動時間縮減や夜の電話対応について理解を求めます)
- ③ 県地域学校協働活動推進事業による学校応援団事業の見直しをすすめます。
→学校運営協議会準備会を順次設置(令和4年度)
- ④ 地域とともに子どもを育てることを目指します。
→コミュニティ・スクール運営開始(令和5年度)
地域学校協働活動における働き方改革重点取組

(5) 教職員の勤務時間管理

- ① QRコードによる出退勤システムの運用を開始、教職員の負担を減らすとともに、より客観的な超過勤務時間の把握に努めます。
- ② 教職員自らが勤務時間を自己管理し、自己目標を設定することにより、タイムマネジメントの意識向上を図ります。研修も実施します。
- ③ 令和3年度以降、業務終了アナウンス付きの電話機を順次配置していく予定です。
- ④ 夏季休業期間中に教職員集中休暇期間5日間を設定し、実質10連休の実現を図ります。(令和5年度)

(6) 学校での指導体制の充実

- ① 全教職員で実践できるわかりやすい共通の指導目標を掲げ、教職員間で達成感が共有できる「チーム学校づくり」を目指します。
- ② 授業や特別活動等で、子どもどうしのつながりを大切に、子どもの自治能力を高め、「子どもの力を生かした学校づくり」を目指します。

(7) その他

市での人材確保には限界があります。教職員定数の拡大や専門的人材の県費任用が必要であり、このことについて国や県に継続して要望します。

資料編 2

野洲市の概要

学校・園の概要

教育委員会の仕組みと仕事

野洲市教育委員会の沿革

野洲市の概要

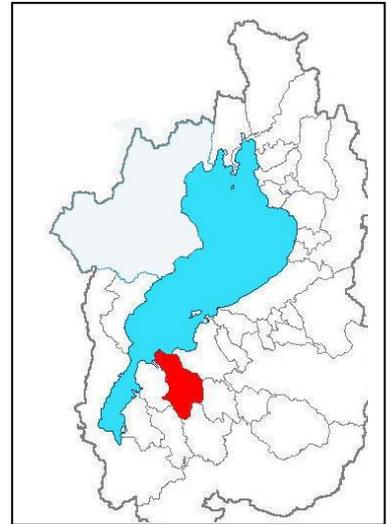
1. 市の沿革

野洲市は、平成16年10月1日に旧中主町と野洲町が合併して誕生しました。

2. 位置・地勢等

野洲市は、滋賀県の南西部に位置しています。近江富士と呼ばれる美しい三上山、そして野洲川や日野川を有しています。また、西は守山市・栗東市、南は湖南市、東は竜王町、北は近江八幡市、そして北西部は日本最大の湖である琵琶湖に接する面積80.15km²のまちです。

貴重な自然に恵まれた温暖な気候の中で、住民の心を和ませる素晴らしい環境を形成した、緑豊かで風光明媚な調和のとれた土地利用が図られています。中心部では京阪神のベッドタウンとして都市化が進む一方、山地、湖岸においては公園やレクリエーション施設が集積しており、地域内外から多くの人を訪れるまちです。



勇壮な“三上山(近江富士)”

さらに琵琶湖、野洲川をはじめとした水源に恵まれ、肥沃な土地を生かして古代から稲作が盛んで、近代化に向けた農業の振興と美しい田園風景保全の取り組みがされています。

また、豊かな自然と歴史に恵まれて、計24個の銅鐸が出土した「銅鐸のまち」としても知られています。数多くの古墳群や神社仏閣を有した歴史・文化遺産が点在するまちです。

以前から、利便性の高い交通網整備を背景として、京阪神都市圏への近接性が高まり、先端技術分野を中心とした企業立地が進んでいます。

3. 人口・世帯

令和5年4月1日現在の人口・世帯数は次のとおりです。

人口		50,614人
内訳	男	25,357人
	女	25,257人
世帯数		21,265世帯

野洲市 市民部 市民課 人口世帯集計表より



4. 市の面積

面積（都市計画区域等）内訳

総面積 80.15km ²	都市計画区域	市街化区域	7.964km ² (都市計画区域に占める 構成比率：13%)
		市街化調整区域	52.606km ² (都市計画区域に占める 構成比率：87%)
	湖沼（琵琶湖水面）		19.580km ²

総務省統計局 全国都道府県市区町村別面積調より

滋賀県土木交通部都市計画課発行 滋賀の都市計画より

5. 市役所の位置

野洲市役所 滋賀県野洲市小篠原2100番地1

東経	136度1分32秒
北緯	35度4分02秒

総務省統計局 全国都道府県市区町村別面積調より



学校・園の概要

1. 幼稚園

(1) 園児数 令和5年4月1日現在

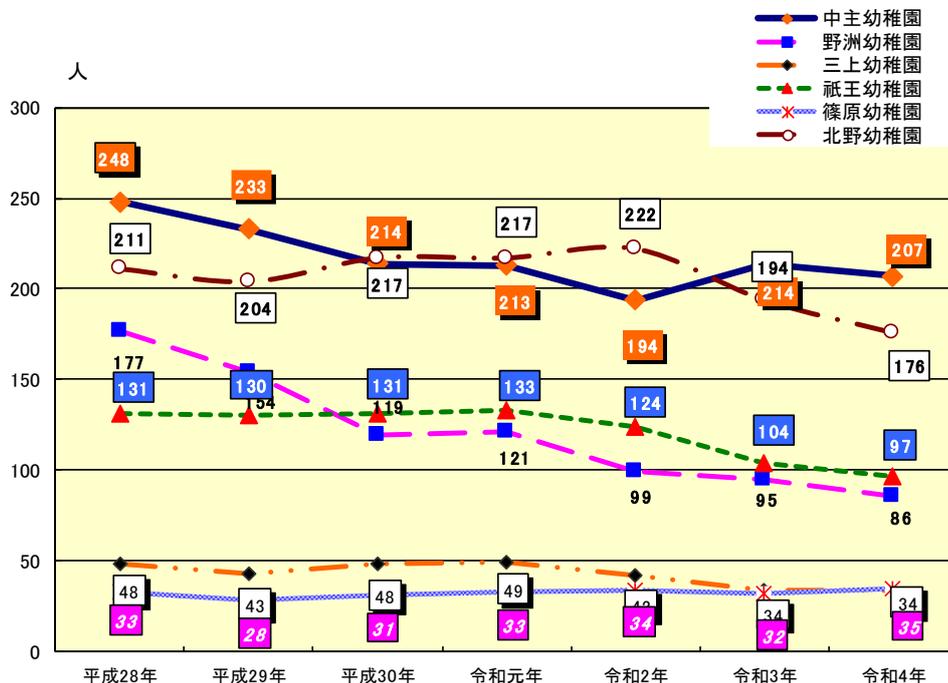
区分	学級数(クラス)	園児数(人)
中主幼稚園	10	208
野洲幼稚園	4	78
ゆきはた幼稚園	7	24
さくらばさま幼稚園	6	21
三上幼稚園	5	35
祇王幼稚園	4	75
篠原幼稚園	6	32
北野幼稚園	8	153
合計	50	626

(2) 市立幼稚園 園児数の推移とグラフ

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

(単位:人)

区分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
中主幼稚園	248	233	214	213	194	214	207
野洲幼稚園	177	154	119	121	99	95	86
ゆきはた幼稚園	15	24	25	21	20	24	26
さくらばさま幼稚園	32	24	24	19	20	20	22
三上幼稚園	48	43	48	49	42	34	34
祇王幼稚園	131	130	131	133	124	104	97
篠原幼稚園	33	28	31	33	34	32	35
北野幼稚園	211	204	217	217	222	194	176
計	895	840	809	806	755	717	683



2. 小学校

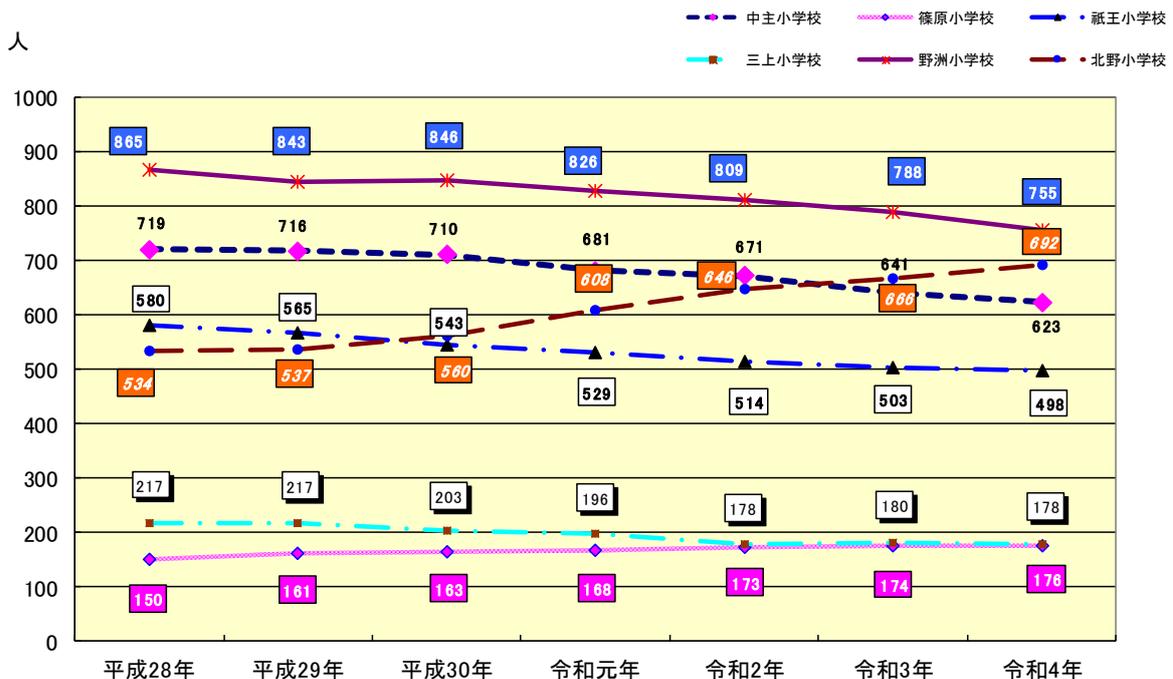
(1) 児童数 令和5年4月1日現在

区分	学級数(クラス)	児童数(人)
中主小学校	27	586
篠原小学校	8	163
祇王小学校	21	474
三上小学校	10	172
野洲小学校	32	717
北野小学校	31	721
合計	129	2,833

(2) 市立小学校 児童数の推移とグラフ

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

区分	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		
	児童数(人)	学級数(学級)													
小学校	中主小学校	719	28	716	29	710	30	681	29	671	29	641	27	623	27
	篠原小学校	150	8	161	8	163	8	168	9	173	9	174	9	176	8
	祇王小学校	580	25	565	25	543	24	529	23	514	22	503	24	498	23
	三上小学校	217	10	217	10	203	10	196	10	178	10	180	10	178	10
	野洲小学校	865	33	843	32	846	34	826	34	809	34	788	34	755	33
	北野小学校	534	22	537	22	560	21	608	24	646	26	666	28	692	29
計	3,065	126	3,039	126	3,025	127	3,008	129	2,991	130	2,952	132	2,922	130	



3. 中学校

(1) 生徒数 令和5年4月1日現在

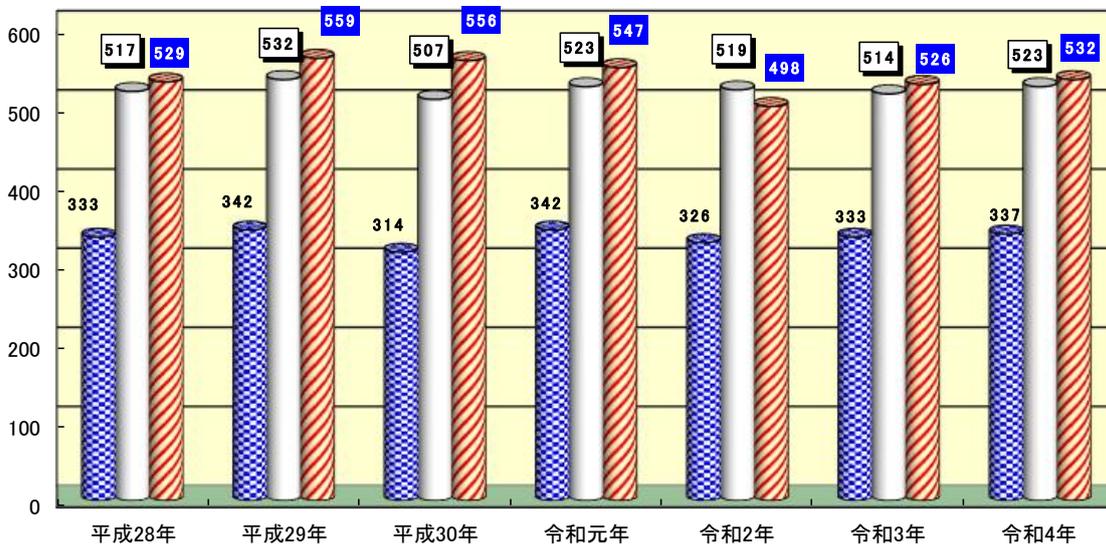
区 分	学級数(クラス)	生徒数(人)
中主中学校	15	343
野洲中学校	20	512
野洲北中学校	23	576
合 計	58	1,431

(2) 市立中学校 生徒数の推移とグラフ

※ 各年5月1日現在(資料:学校基本調査)

区 分	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		
	生徒数 (人)	学級数 (学級)													
中 学 校	中主中学校	333	13	342	14	314	12	342	13	326	13	333	13	337	13
	野洲中学校	517	20	532	20	507	20	523	20	519	20	514	20	523	20
	野洲北中学校	529	18	559	20	556	21	547	20	498	20	526	21	532	23
	計	1,379	51	1,433	54	1,377	53	1,412	53	1,343	53	1,373	54	1,392	56

■ 中主中学校 □ 野洲中学校 ▨ 野洲北中学校



資料編 3

教育委員会の仕組みと仕事

野洲市教育委員会の沿革

教育委員会の仕組みと仕事

1. 教育委員会の仕組み

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、教育の政治的中立性を保持し、学校教育や生涯学習等の振興を図るため設置された、市長から独立した執行機関です。

教育委員会は、教育長と4人の委員による合議制の機関となっています。

教育委員会は、次の3点を目的として設置されています。

- ① 政治的中立性・安定性の確保
- ② 地域住民の多様な意見を反映
- ③ 生涯学習などの教育行政の一体的な推進等

教育委員会の権限に属する事務は、教育委員会の会議によって処理することとなっており、教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針等について審議し、決定しています。

(2) 教育長・教育委員会委員

① 任命

教育長は、人格が高潔で教育行政に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て、任命されます。

委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が議会の同意を得て、任命されます。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年以内で、再任されることがあります。

② 教育長と教育長職務代理委員

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。教育長職務代理委員は、教育長に事故があるとき、教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員が教育長の職務を代行します。

③ 教育長・教育委員会委員名簿

職名	氏名	教育長・委員としての任期
教育長	西村 健	令和3年4月1日 ～令和6年3月31日
委員 教育長職務代理者	南出 久仁子	令和元年11月18日 ～令和5年11月17日
委員	山崎 玲子	令和2年11月18日 ～令和6年11月17日
委員	本田 亘	令和3年11月18日 ～令和7年11月17日
委員	瀬古 良勝	令和4年11月18日 ～令和8年11月17日

(3) 教育委員会の会議

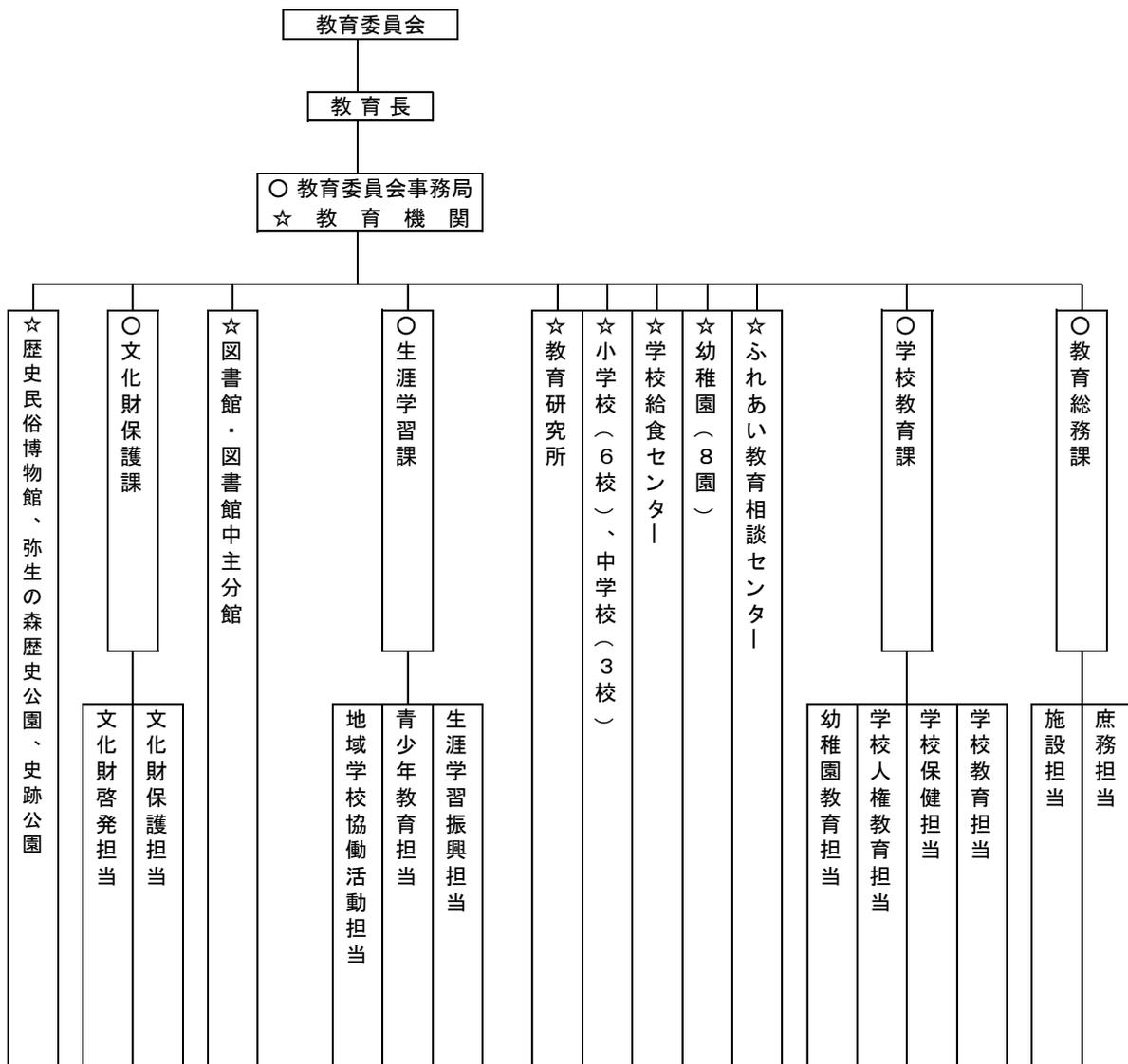
原則、毎月1回の定例会を、必要に応じて臨時会を開催し、市の教育行政に関する事項について審議を行っています。

2. 教育委員会の仕事

- (1) 学校の授業の研究・指導、生徒指導・進路指導、教師に対する指導
- (2) 学校などの教育施設の整備・管理
- (3) 教育委員会事務局・学校などの職員の人事
- (4) 生涯学習の情報や機会の提供、図書館や博物館の事業の企画・運営
- (5) 文化財の調査、保護、啓発
- (6) 青少年の健全育成
- (7) 人権に関する教育、啓発など

3. 教育委員会の組織図

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第17条の2項の規定に基づき内部組織、同第30条に基づいて設置された教育機関を図式したものです。（令和5年4月1日現在）



4. 教育委員会の組織表

教育委員会事務局					
所属名	担当等	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号
教育総務課	庶務、施設	野洲市小篠原 2100 番地 1 (庁舎別館)	520-2395	587-6014	587-3835
学校教育課	学校教育・学校保健・ 学校人権教育・ 幼稚園教育	同上	同上	587-6017	587-3835
生涯学習課	生涯学習振興・青少年教育・地域学校協働活動担当	同上	同上	587-6053	587-3835
文化財保護課	文化財保護・ 文化財啓発	野洲市西河原 2400 番地 (北部合同庁舎内)	520-2423	589-6436	589-5444

教育機関等（幼稚園）					
機関名	名称	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号
市立幼稚園（8園）	中主幼稚園	野洲市吉地 1120 番地 1	520-2413	589-2232	589-5941
	野洲幼稚園	野洲市小篠原 2142 番地 25	520-2331	587-1265	587-2062
	ゆきはた幼稚園 (こども園)	野洲市行畑一丁目 2 番 25 号	520-2341	588-3690	588-0802
	さくらばさま幼稚園 (こども園)	野洲市小篠原 200 番地	520-2331	588-0295	588-1257
	三上幼稚園 (こども園)	野洲市三上 134 番地	520-2323	588-2672	588-0532
	祇王幼稚園	野洲市永原 474 番地	520-2304	588-2737	588-0689
	篠原幼稚園 (こども園)	野洲市大篠原 1414 番地 2	520-2313	588-4907	586-8252
	北野幼稚園	野洲市市三宅 248 番地	520-2362	587-5332	587-2130

教育機関等（学校）					
機 関 名	名 称	所 在 地	郵便番号	電話番号	FAX 番号
市立小学校（6校）	中主小学校	野洲市西河原 712 番地	520-2423	589-2012	589-2025
	篠原小学校	野洲市大篠原 1414 番地	520-2313	587-0179	587-2177
	祇王小学校	野洲市上屋 1169 番地	520-2316	587-0129	587-2428
	三上小学校	野洲市三上 111 番地	520-2323	587-0049	587-2245
	野洲小学校	野洲市小篠原 1147 番地	520-2331	587-0062	587-2702
	北野小学校	野洲市市三宅 240 番地	520-2362	587-0058	587-2468
市立中学校（3校）	中主中学校	野洲市六条 377 番地	520-2412	589-2036	589-4978
	野洲中学校	野洲市小篠原 510 番地	520-2331	587-0341	587-6768
	野洲北中学校	野洲市永原 1690 番地	520-2304	587-3693	587-6499

教育機関等（その他の機関）					
機 関 名	業 務 内 容 等	所 在 地	郵便番号	電話番号	FAX 番号
教育研究所	教育に関する調査 研究、教育関係職員 研修	野洲市小篠原 2100 番地 1 (庁舎別館 2 階)	520-2395	587-6028	587-3835
学校給食センター	学校給食	野洲市八夫 2479 番地	520-2433	589-1011	589-1022
ふれあい教育相談 センター	就学児童・生徒及び 就学前児童支援	野洲市小篠原 1965 番地 4	520-2331	587-6925	587-2004
歴史民俗博物館	歴史、芸術、民俗等 調査研究等	野洲市辻町 57 番地 1	520-2315	587-4410	587-4413
野洲図書館	図書館運営・ 情報発信	野洲市辻町 410 番地	520-2315	586-0218	587-5976

野洲市教育委員会の沿革

昭和30年 4月	野洲町・祇王村・篠原村が合併し、野洲町として発足
昭和30年 4月	中里村・兵主村が合併し、中主町として発足
昭和31年11月	中主町立中主中学校体育館竣工
昭和32年 3月	中洲村の一部（吉川、菖蒲、喜合）が中主町に編入
昭和33年 2月	中主町給食調理室竣工
昭和33年 3月	中主町立中主小学校校舎増築
昭和37年 4月	中主町立有隣館開館
昭和38年 2月	野洲町立野洲中学校体育館竣工
昭和39年10月	中主町第1回町民運動会開催
昭和40年 3月	中主町立中主中学校校舎増築
昭和42年 4月	野洲町立学校給食共同調理場竣工
昭和42年 5月	中主町立中主幼稚園開園
昭和43年 8月	中主町立中主公民館竣工
昭和44年 3月	中主町第1回町民文化祭開催
昭和46年 4月	野洲町立野洲幼稚園開園
昭和48年 4月	野洲町立視聴覚ライブラリー設置
昭和49年 4月	野洲町立篠原幼稚園開園
昭和50年 4月	野洲町立野洲西小学校を野洲町立野洲小学校に、また、野洲町立野洲東小学校を野洲町立三上小学校に名称変更並びに野洲町立三上幼稚園開園
昭和51年 4月	野洲町立祇王幼稚園開園
昭和54年 2月	中主町立学校給食センター竣工
昭和54年 3月	中主町立町民グラウンド竣工
昭和54年 7月	野洲町地域総合センター竣工
昭和54年 8月	野洲町立図書館開館
昭和55年11月	中主町文化協会設立
昭和56年10月	中主町B&G海洋センター体育館竣工
昭和57年 6月	中主町B&G海洋センタープール竣工
昭和58年 4月	野洲町立北野小学校開校 野洲町立中央公民館・野洲文化ホール開館 中主町立中主中学校校舎改築工事完成
昭和59年 4月	野洲町立野洲北中学校開校
昭和60年 2月	野洲町大岩山古墳群国史跡指定
昭和60年 4月	中主町立中主小学校新校舎竣工
昭和61年 8月	野洲町立野洲小学校本館棟大規模改造工事竣工
昭和62年 8月	野洲町立野洲中学校体育館大規模改造工事竣工
昭和62年10月	中主町立中主中学校コンピュータ導入

昭和63年 4月	野洲町立北野幼稚園開園
昭和63年 11月	野洲町立歴史民俗資料館開館及び弥生の森歴史公園開園
平成 元年 4月	野洲町立総合体育館のうち体育館開館
平成 元年 8月	野洲町立篠原小学校本館棟大規模改造工事竣工
平成 2年 8月	野洲町立温水プール開館及び野洲町立文化小劇場開館 野洲町立野洲中学校普通教室棟大規模改造工事竣工
平成 3年 4月	野洲町立祇王社会教育センター開館、宮山二号墳史跡公園開園
平成 3年 8月	野洲町立野洲中学校特別教室棟大規模改造工事竣工
平成 4年 4月	野洲町立幼稚園2年保育移行・ふれあい教育相談室開設・ 野洲町立篠原社会教育センター開館
平成 4年 7月	中主町立豊積の里総合センター開館
平成 4年 10月	中主町立中主中学校海外派遣事業開始
平成 5年 4月	野洲町立三上社会教育センター開館及び野洲町立野洲社会 教育センターを野洲町立中央公民館に併設
平成 5年 8月	野洲町立三上小学校本館棟大規模改造工事竣工
平成 7年 5月	中主町立中主ふれあいセンター開館
平成 8年 3月	野洲町立野洲中学校柔剣道場開館 野洲町立小学校コンピュータ導入
平成 8年 9月	中主町立中主中学校とアメリカミシガン州ベアリン・ スプリングス中学校との交流事業開始
平成 9年 4月	野洲町立中学校コンピュータ導入 野洲町立図書館コンピュータ導入
平成10年 4月	野洲町立コミュニティセンターきたの開館
平成10年 11月	野洲町立祇王小学校大規模改造工事竣工
平成11年 3月	野洲町立野洲小学校防音対策工事完了
平成12年 2月	中主町立中主中学校校舎改築工事竣工
平成13年 4月	中主町さざなみ振興事業団設立
平成13年 11月	野洲町立桜生史跡公園開園
平成14年 3月	野洲町立新図書館竣工、野洲町立三上幼稚園新築移転
平成14年 4月	中主町立中主幼稚園移転新築・3年保育・預かり保育開始
平成14年 7月	野洲図書館分室開館（野洲町立図書館を野洲図書館分室へ）
平成14年 8月	野洲図書館開館（辻町地先）
平成15年 6月	野洲町立野洲小学校、野洲幼稚園整備工事竣工（PFI事業）
平成16年 5月	野洲町立野洲小学校以外の4校、2中学校コンピュータ導入 野洲町立野洲幼稚園整備工事竣工
平成16年 9月	野洲町立野洲小学校整備工事竣工
平成16年 10月	野洲市誕生（中主町・野洲町の合併）
平成17年 4月	野洲市立野洲、三上、篠原各幼稚園3年保育開始
平成17年 10月	野洲市立祇王幼稚園増築工事竣工
平成18年 2月	野洲市立北野幼稚園増築工事竣工

平成18年 4月	野洲市立祇王、北野幼稚園3年保育開始 野洲市立三上幼稚園預かり保育開始
平成19年 3月	野洲市立祇王小学校耐震補強及び大規模改修工事竣工 野洲市学校給食センター新築工事竣工 野洲市立なかよし交流館新築工事竣工
平成19年 9月 平成20年 3月	野洲市立中主中学校コンピュータ入替え導入 野洲市立中主小学校コンピュータ入替え導入 野洲市立小・中学校（体育館）AED設置
平成21年 9月 平成22年 3月	野洲市立北野小学校体育館屋根改修工事竣工 野洲市立中主小学校便所改修工事竣工 野洲図書館分室閉館
平成22年 4月 平成22年 9月 平成23年 3月	野洲市立野洲・北野・祇王幼稚園預かり保育開始 野洲市立小・中学校校務用コンピュータ導入 野洲・祇王学童保育所新築棟竣工 野洲市立野洲中学校改築棟竣工
平成23年 4月 平成23年 6月 平成23年10月 平成23年11月 平成23年12月 平成24年 1月 平成24年 3月	野洲市立篠原こども園開設（篠原こども園で預かり保育開始） 野洲市立三上小学校改築棟竣工 野洲市立祇王小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事竣工 野洲市立野洲小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事竣工 野洲市立篠原小学校特別教室棟、体育館耐震補強及び大規模改修工事竣工 野洲市立三上小学校本館、南館耐震補強及び大規模改修工事竣工 野洲市立中主こどもの家、北野こどもの家竣工 野洲市立野洲中学校新館、体育館耐震補強及び大規模改修工事竣工 中主B&G海洋センタープール改修工事竣工 野洲市立幼稚園保育室エアコン導入
平成24年 4月 平成24年 8月 平成24年11月 平成25年 3月	平成24年度組織・機構の改編により、こどもの家に関する事務の所管を健康福祉部へ移す。 野洲市立小・中学校普通教室エアコン導入 篠原小学校教室棟改築工事竣工 （財）野洲市文化スポーツ振興事業団解散
平成25年 8月 平成25年10月 平成26年 3月	野洲市立祇王小学校増築工事竣工 野洲市立篠原小学校管理棟工事竣工 野洲市立小、中学校の校舎等全ての建築物耐震化完了 野洲市立北野小学校増築工事完了 野洲市立野洲北中学校柔剣道場新築棟竣工
平成26年 4月	野洲市立さくらばさま幼稚園開園
平成27年 4月	新教育委員会制度移行
平成28年 4月	野洲市立ゆきはた幼稚園開園 平成28年度組織・機構の改編により、人権教育に関する

平成28年 7月	事務（学校教育関係を除く）の所管を総務部へ移す。 野洲市3方よし人材バンク開始
平成29年12月 平成30年 3月	野洲図書館 図書宅配・郵送サービス開始 中主B&G海洋センター体育館大規模改修工事完了
平成30年 4月 平成30年 8月 平成31年 3月	学校における働き方改革の取組方針策定 校務用PC更新、デジタル教科書・大型表示装置導入 体育センター閉鎖
平成31年 4月 令和 元年 9月 令和 2年 3月	三上幼稚園（こども園）開園 全小・中学校コンピュータ教室タブレット整備 永原御殿跡及び伊庭御殿跡 史跡指定（文部科学省告示第17号） 新型コロナウイルス感染症に伴う休校措置（3/4～3/24）
令和 2年 4月 令和 2年 7月 令和 3年 2月 令和 3年 3月	新型コロナウイルス感染症に伴う休校措置（4/14～5/31） 統合型校務支援システム導入 健康スポーツセンター開所 野洲市立中主小学校体育館大規模改修工事竣工 野洲市立野洲北中学校南校舎大規模改修及び校舎増築工事竣工 全小中学校児童生徒1人1台タブレット端末整備 永原御殿跡及び伊庭御殿跡 史跡追加指定（文部科学省告示第49号） 野洲市立中主小学校旧館校舎解体工事完了 野洲市立中主小学校校舎増築工事竣工
令和 3年 8月 令和 4年 3月	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会野洲市 準備委員会設立発起人会 野洲市立野洲北中学校北校舎大規模改修及び体育館改修工事竣工
令和 4年 4月 令和 4年 9月 令和 5年 4月	第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会野洲市 準備委員会設立総会 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会野洲市 実行委員会へ改組 教育委員会所管事務（文化芸術、スポーツ）の市長部局への移管

元気な学校・園づくり

令和5年度の幼稚園・小中学校の取組

資料編 1

小・中学校における働き方改革の取組方針



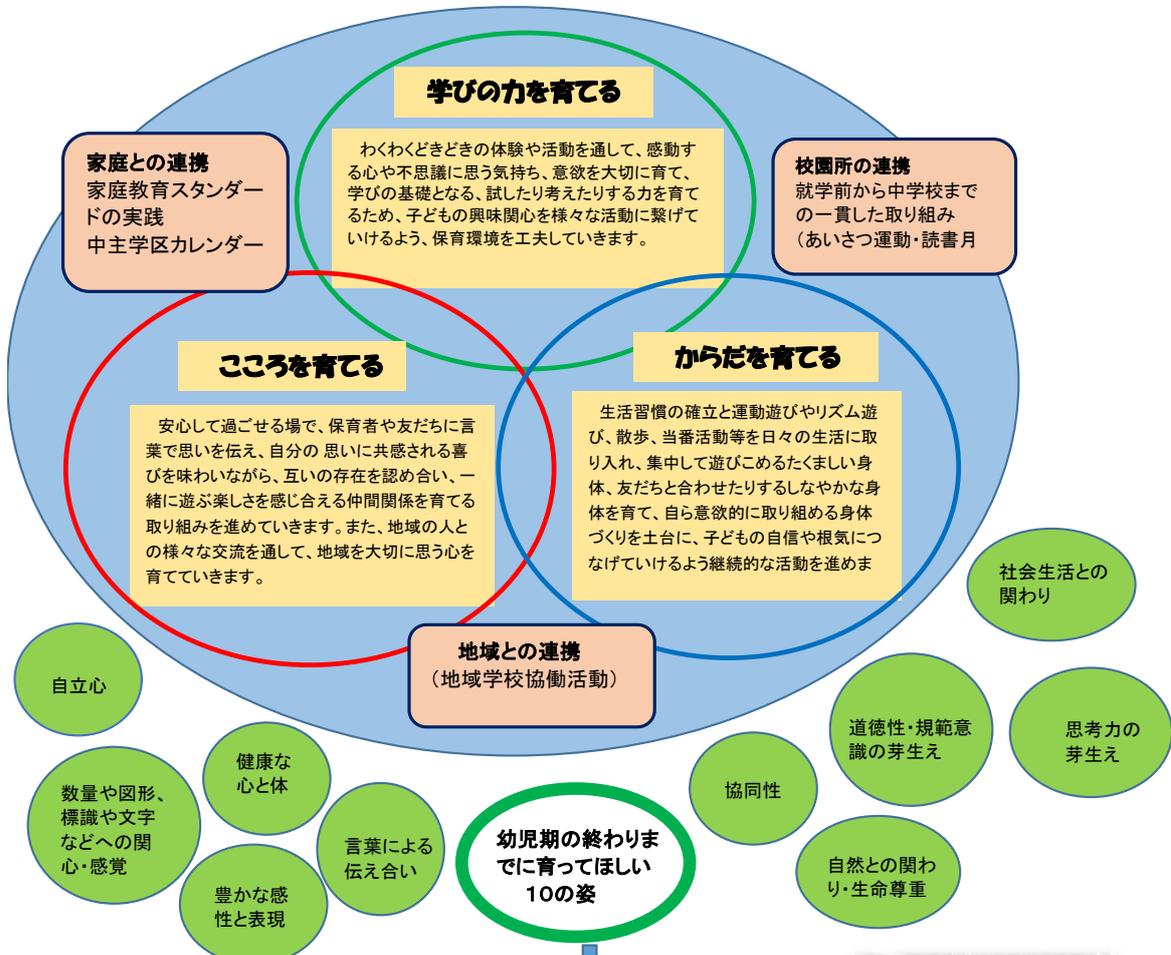
幼小中12年間の教育目標

「自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成」

(園教育目標) 心豊かで たくましく 生き生きとした子どもの育成

めざす子ども像

自分で考え、行動する子ども 自分にも人にもやさしい子ども 元気にあそぶじょうぶな子ども



小学校へのなめらかな接続

5年生のお兄さんお姉さんと過ごす(5・5交流)ことで、小学校への不安が少なくなり、あこがれや期待が高まります。また、学習内容のつながりについても、職員間で話し合い、幼稚園から小学校へのスムーズな接続を進めています。



地域ボランティアおはなし会



5・5交流



焼きもパー



あやめ浜



きらきらいむ



おはなしタイム

地域の方との交流

さつまいもの収穫から昔ながらの焼き芋体験、兵主太鼓など、自然体験や伝統文化に触れる経験をたくさんさせていただいています。子どもたちの言葉の力を育てるために、絵本サークルさんによる読み聞かせもさせていただいています。様々な方との出会いを大切に、年度末に感謝の気持ちをこめて、『ありがとうの会』を開催しました。地域の方の温かさを感じ、自分たちの『まち』を誇りに思う子どもたちを育てています。

主体的に遊ぶことを大切に、自然体験を通して感じる・試す・工夫する力を育てる

「きらきらいむ」で自分のやりたい遊びを存分に楽しむ子どもたち。自然体験の中で、見る・触る・匂いをかぐ・聞く・味わう…など、五感を通して感じたことが、学びへの意欲につながります。感じたこと、考えたことをやってみる、試してみる、挑戦してみる機会を大切にしています。

言葉で伝えあう力の育成

遊んだ後は、毎日振り返り時間を持ち、自分の思いを話したり、友だちの話を聞くことを大切にしています。自分の思いを伝えることで、考えを整理しまとめたり、話す力が身につきます。友だちの話を聞くことで、新たな気づきがあったりと経験、視野が広がります。互いに伝えあうことで、友だちとのつながりを深めていけるようにしています。

教育目標 たくましさやさしさをもつ子どもの育成

めざす
子ども像



のびのびと
たくましい子ども



自ら気づき考え
行動する子ども



人を大切にする
子ども

しなやかな身体を育てる

基本的な生活習慣の確立と毎日の生活や遊びのなかで、掃除や手伝い、リズム遊びや運動遊びなど、体をいっぱい使って活動する中で、しなやかな心と体、粘り強くがんばる子どもを育てます。



学びに向かう力を育てる

いろいろな遊びに興味関心を持ち、考えたり、協力したり、友だちと共感しながら、主体的、意欲的に遊び、自ら考え、行動しようとする子どもを育てます。



豊かな心を育てる

同年齢や異年齢の友だちや先生、地域の方などさまざまな人とかわり、自分の思いや考えを安心して表現したり、いろいろな心を動かす経験や体験を通して、多様な見方ができる豊かな感性と表現力を育み、互いに認め合える仲間づくりをめざします。



幼児にとって、遊ぶことは、学ぶこと！～主体的、対話的で深い学びにつながる遊びを求めて～

環境を通したゆたかな遊びの場の保障

遊びのサイクルの一つひとつに適切な環境構成と支援をしていく中で、主体的に遊びを繰り返し、心を動かす体験を通して充実感や満足感を味わい、学びにつなげる

遊びのサイクル

「おや？」
(気づき・興味)



「やってみよう」
「どうしたらいいかな」
(意欲・探求心)



次のステップ

「もっとやりたい」
「つぎはこうしてみよう」
(新たな発見・試行錯誤)



「みてみて」
「たのしいね」
(伝達・共同)



「おもしろい」
「わかった」
(刺激・発見)



3歳児、4歳児、5歳児
それぞれの時期の
発達と学びの積み
重ねをつなぐ

小学校以降の学びにつなげていく(学びの連続性)

ゆきはたこども園



教育(保育)目標 たくましく、心豊かな子どもを育てる

めざす子ども げんきな子 ・ やさしい子 ・ かんがえる子 ・ がんばる子



チームゆきはたこども園の保育実践

元気 いっぱい

- ・家庭と連携し、基本的な生活習慣を身につける。
- ・保護者と連携し元気の挨拶を習慣づける。
- ・運動遊びを豊富にして0歳から就学前までの系統的な体力づくりをする。



笑顔 いっぱい

- ・安心して園生活が送れるようにし、自分やまわりの人が大切な存在だと感じられるようにする。
- ・好きな遊びや活動があり、見通しや自信をもって活動し、満足感や達成感を重ねる。



好奇心 いっぱい

- ・地域の自然の中で五感を十分に働かせて遊ぶ。
- ・主体的に環境にかかわって遊び、科学的なものの見方の基礎と学びへの意欲を育む。
- ・命の不思議さや大切さに気づく経験をする。



友だち いっぱい

- ・認め合える関係を育て、自分の思いや考えを表現できるようにする。
- ・多様な出会いを経験する中で違いを豊かさにとらえられるようにする。
- ・共感しあい、共同で学ぶ楽しさを感じられるようにする。



主体的に環境にかかわって遊ぶ活動を通して学びの芽生えを育む

チャレンジ1

全12クラスの研究保育を行い、子どもが主体的に環境に関わって遊び保育の充実をめざす実践研究を推進する。

チャレンジ2

たくましい子どもを育てる取り組みを通し、園児のけがの前年度比10%減少の実現をめざす。

チャレンジ3

絵本や保育備品の計画的な購入や修理点検を推進し、保育環境の整備拡充を図る。

チャレンジ4

保育活動報告会等、保護者に園の取り組みや、子どもの姿を知っていただく機会を設け共通理解を図り、保護者連携を強化する。

チャレンジ5

可能な範囲で、地元老人会様と交流し、多様な関わりを経験できる機会を設ける。



さくらほさま幼稚園(さくらほさまこども園)



教育目標 たくましく心豊かな子どもの育成

元気な子ども

自分で考え行動する子ども

優しい子ども

がんばる子ども

ともだち広場 (異年齢交流)
体操やふれあい遊びなど友だちと一緒に身体を動かす心地よさを楽しんでいます。



桜生史跡公園での自然体験

からだそだて

毎日の生活の中で基本的な生活習慣を身につけます。
運動遊びや地域の自然豊かな桜生史跡公園などへの散歩を通して健康でしなやかな身体づくりに取り組んでいます。



こころそだて

自分が大事にされているという実感と体験を通じた自信を基盤にして、自尊感情を育みます。
5感を使って主体的に環境に関わってあそび、科学的なものの見方の基礎や意欲を育みます。

なかまそだて

同年齢・異年齢の友だち、世代間交流などさまざまな人との出会いや関わりを大切に、認め合える関係を育て、自分の思いや考えを安心して表現したり、共同であそぶ楽しさを感じられるように育てていきます。



砂・水遊び
様々な感触を楽しむ中で、素材の性質に気づき、試行錯誤したり工夫しながら遊びます。

「おもしろそう!」「やってみよう!」「できた!」
子どもたちが考えたり試したり、工夫したりして主体的・意欲的に環境に関わって遊ぶことは、学びに向かう力の基礎を育みます。



おみせやさんごっこ
友だちと相談しながらおみせをつくりました。いろいろなクラス・学年のお客さんに来てもらって楽しみました。

生きる力の基礎

学校教育への円滑な接続

三上幼稚園(三上こども園)



教育・保育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

交通安全教室
「横断歩道の渡り方を教えてもらったよ」



健康な身体づくり

- ・基本的な生活習慣を身につける
- ・運動遊び、リズム遊び、園外保育などを通して健康でしなやかな身体をつくる



運動会
「青空の下でいっぱい身体を使って遊んだよ」

豊かな心づくり

- ・五感を使った遊びを通して豊かな感性を育てる
- ・自分に自信を持って行動できる力を身につける
- ・試したり工夫したりして主体的に行動できる力を育てる



稲刈り体験「お米たくさんとれるかな」

元気な子 考える子



やさしい子



がんばる子



認め合える仲間づくり

- ・友だちとかかわる楽しさを知る
- ・友だちの良いところがわかる
- ・自分の思いを出し、友だちの思いを受け止めて行動する



雪遊び
「雪だるまづくりやそりすべり。冷たかったけど楽しかったよ」

育みたい資質・能力
『知識および技能の基礎』 『思考力・判断力・表現力の基礎』 『学びに向かう力・人間性など』

教育目標 祇王を愛する心豊かな子どもの育成

めざす子ども像

- 丈夫な子** … しっかり寝て食べて遊び、しなやかな心と身体をもつ子ども
- やさしい子** … 人とかかわり人の思いに気づく豊かな感性と表現力を持つ子ども
- 考える子** … 周りの環境に好奇心や探究心を持って関わり、自ら考え行動する子ども

丈夫な子～からだ育て～

生活習慣の確立と運動遊び、散歩、リズム体操、おてつだい活動を日々の生活のなかにもとりいれて、集中して遊びこめるたくましくしなやかな身体を育みます

やさしい子～こころ育て～

四季を通じた地域めぐり遠足で自然や文化にふれる機会を持ち、豊かな感性を育て、さまざまな活動や体験を通して、人とかかわる楽しさを感じ、自分も友だちも大切に思う心を育みます

考える子～学びの力育て～

わくわくする遊びの体験の中で、気づいたり考えたり試したり工夫したりして意欲的にとりくみ、主体的、対話的で深い学びの基礎を育みます

「やってみよう」「できた!」があふれる保育をめざして
～心が動く遊びにつながる環境、援助を探る～

丈夫な子～からだ育て～

- ・ 基本的生活習慣を身につける
- ・ みんなの広場・げんきこっタイム
- ・ 様々な運動遊び
- ・ そうじ活動

量を加減しながらペットボトルに色水を入れています

砂場でごちそうを作ったよ

みんなの広場
異年齢の友だちと体操や運動遊びを楽しんでいます

考える子～学びの力育て～

- ・ いろいろな物にふれて遊ぶ
- ・ 考えたり試したり工夫したりして遊ぶ
- ・ 栽培活動

主体的にいろいろな人や物とかかわりながら
夢中になって遊びこむ体験

老人クラブの方との交流会

お正月遊びや昔の遊びを教えていただき、楽しみました

やさしい子～こころ育て～

- ・ 地域の老人会の方との交流
- ・ にこにこ集会
- ・ 自然にふれたり、いろいろな人とかかわったりして遊ぶ

ダンゴムシを観察中。
上から見たり下から見たり! おもしろいな!

相談しながら「ダンゴムシのまち」を作っているよ

地域のお寺で祇王井川のお話を聞きました

育てたいちごを収穫して食べました

生きる力の基礎を育む

小学校へのなめらかな接続
接続カリキュラムの実践

野洲市立篠原幼稚園（篠原こども園）

教育（保育目標）

心身ともに健康で感性豊かな子どもの育成

自分が好き

自分が大事にされている
と実感すること

友だちが好き

人とかかわることを心地よく
感じることに

自然が好き

生まれ育った地域を誇
りに思うことに

からだそだて

健康な生活習慣を身につけ、自信や意欲をもって、さまざまなことにかかわれる子どもを育てていきます。日々の生活や運動遊び、地域の自然豊かな里山などへの散歩などを通して、子どもの体力づくり、しなやかなからだづくりに取り組んでいきます。 ～ 暮らしやすく学びやすいからだづくり ～

思考力の
芽生え

自立心

社会生活と
の関わり

協同性

健康な心と体

言葉による
伝え合い

自然とのかかわり
生命尊重

道徳性 規範意識
の芽生え

豊かな感性と表現

こころそだて

自分が大切な存在であると実感できるように様々な経験を大切にしていきます。また、地域の人や自然とのふれあいを通し、人とかかわる喜びや人と環境のつながりについて知り、たくさんの人たちから見守られていることの安心感を得て、子どもたちのしなやかな心と感性をはぐくんでいきます。

～ 心が動く経験 ～

なかまそだて

毎日の遊びや生活の中で「友だちと一緒にいると楽しいな。」「〇〇ちゃんのこんなところが好き」と、友だちとかかわる楽しさ、心地よさを感じてほしいと願っています。安心して自分の思いを表現し伝え、相手の思いに気づき、仲間と共に考え行動していく力や、互いに認め合い高めあう仲間を育てていきます。

～ 自分が大好き・友だち大好き ～

数量図形、標識
や文字などへの
関心・感覚

生きる力の基礎を育む 学校教育への円滑な接続

野洲市立北野幼稚園



教育目標

心豊かでたくましい子どもの育成

明るく元気な子

友だちと共感できる子

よく見てよく考え自分で行動する子

豊かに感じる心をもつ子

からだ育て

毎日の生活の中で基本的な生活習慣を身につけます。運動遊び、リズム体操、そうじ、お手伝いなどを日々の活動に取り入れ、遊びや生活に意欲的に取り組み、最後までやりきる自主自立の力としなやかな心と体を育てます。



遊びや生活の中で、様々な身体の動きを経験し、身体の育ちを促します。



体操やリズム遊び、マラソン等をして、みんなで身体を動かす心地よさを感じます。

すくすく

わいわい

なかま育て

認め合える関係を育み、安心して自分の思いや考えを表現できるようにします。共感しあい、共同で遊ぶ楽しさを感じられるような経験を積み重ねながら多様な考えを知り合い、受け入れながら互いを大切にする気持を育てていきます。

他学年との交流でいろいろな人と関わる力を育てます。



互いに思いや考えを出し合いながら、遊びを進める過程を大事していきます。



こころ育て

周りの人たちから見守られ、自分が大切にされている実感と、いろいろなことに心を動かす活動や体験を通して得た自信を基盤にし、自分のことも友だちのことも大切にする心を育てます。

実際に体験することで、五感を通し、形や重さ、感触、匂い等、様々なことを感じます。



一人ひとりの誕生日に、歌のプレゼントやインタビューをして、みんなでお祝いします。

ほかほか

わくわく

学びに向かう力

「おもしろそうだな!」「やってみよう」「どうすればいいかな?」「できた!」子どもたちが試したり、工夫したりして主体的・意欲的に遊べる環境構成をし、学びに向かう基礎となる力を培います。

自分のしたい遊びを存分に楽しむ「きらきらタイム」。繰り返し遊ぶ中で、いろいろな気づきや発見があります。



試行錯誤しながらじっくりと遊べる時間を保障し、意欲や探求心を育てます。

夢中になって遊びこむ中で、いろいろな人・もの・ことに会い、

感性豊かな心・しなやかな身体・認め合える仲間 を育てていきます

野洲市立小学校

令和5年度(2023年度) 中主小学校の教育

中主学区統一教育目標 自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成
学校教育目標

心豊かでたくましい実践力のある中主っ子の育成

児童数 586名
学級数 27学級
教職員数 67名
(4月1日現在)

めざす学校像

- 『地域に信頼される学校』
- 地域や保護者と共に歩む学校
- 子ども、教師、保護者が元気な学校

めざす子ども像

- かんがえる子
- やさしい子
- げんきな子

めざす教師像

- 学び続ける教師
- 子どもの話を聴く教師
- 寄り添い、信頼される教師

まなびプロジェクト部会 かんがえる子

挑戦1 勉強がわかる児童 90%

<具体的方策>

- ◎ 学ぶ力向上策
- 視点1: 学びを実感できる授業づくり
 - ① 読書貯金 「ことばを増やす」
 - ② ICTを効果的に活用 「みんながわかる」
- 視点2: 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり
 - ① 違いを認め合える集団 「聴く、認める、ほめる」
 - ② 自分たちでできた経験と自信 「まかせてみる」
- 視点3: 子どものために一丸となって取り組む学校づくり
 - ① 学び合い、高め合い、情報共有する組織 「学年OJT」
 - ② 「中主のよさ」を生かした教育活動



こころプロジェクト部会 やさしい子

挑戦2 学校が楽しいと感じる児童 90%

<具体的方策>

- すべての教育活動の中で人権同和教育・いじめ防止
 - ・相手の立場で物事を考える取り組み
- 特別支援理解教育の推進
 - ・特別支援学級と交流学級の連携強化
- 部落問題学習・共通教材の取組
 - ・部落問題学習に繋ぐ系統性のある学習
- ふたば学級の充実
 - ・保護者会とともに仲間づくりと人権学習を推進

いのちプロジェクト部会 げんきな子

挑戦3 あいさつをする児童 90%

<具体的方策>

- 安全な学校生活
 - ・仲間のことを考えた安全な行動(廊下歩行、感染対策等)
 - ・もくもく掃除(無言掃除)の徹底
- 気持ちのよいあいさつ
 - ・子ども、家庭、地域、教師、みんなであいさつ
- 生徒指導の組織対応
 - ・3原則の徹底
 - ①聴く・寄り添う ②ほめる・認める ③考え、判断させる

幼小中で一貫した教育を

- 「中主っ子」家庭教育スタンダード 「中主っ子」学びのスタンダード
中学校・幼稚園・保育所との連携強化
- 連携部会の充実
合同研修会の実施・OJTの共同実施
系統的な教育課程の検討

家庭・地域との連携

- 学校からの情報発信 学校だより、HP、メール配信等
- 地域の力を学校に(地域に学ぶ・地域を学ぶ) 学校運営協議会、PTA、学校応援団
自治連合会、青少年育成市民会議、民生児童委員 など 中主学区関係団体との連携
- コミュニティスクール・地域学校協働活動の充実 学校⇄地域(地域貢献)



令和5年度 篠原小学校 元気な学校づくり

「校訓」

ほのかなれど
灯消えじ篠の原

(得意なこと、苦手なこと、いろいろあるけれど)

自分が好き、友だちが好き、家族が好き、学校が好き、そして地域が好き!

<合い言葉> 「好きです、篠原」

-めざす子どもの姿-

自ら学び、考える子
みんなと力を合わせる子
たくましい心と体を持った子
地域や学校を大切に子

挑戦1 ☆まなび☆ 自ら学び、考える子の育成

「学校の勉強はよくわかる」の割合
90%以上をめざします。



【具体的方策】

- ・学習習慣の基礎基本の力を育て一人ひとりの学ぶ力を高める
- ・「主体的・対話的で深い学び」を推進する授業改善(校内研究)
- ・論理的に考え伝え合う力を高めるために、ペア学習やグループ学習等子ども同士が互いに学び合う学習の充実
- ・読書に親しむ機会の充実を図り、語彙力、読解力を育成
- ・「家庭学習がんばり週間」の設定と「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習の定着

挑戦2 ☆ころろ☆ みんなと力を合わせる子の育成

「学校が楽しい子ども」の割合
90%以上をめざします。



【具体的方策】

- ・行事、児童会活動等で、主体的、自治的な活動の活性化
- ・「ストップいぬアクションプラン」に基づき、いじめをさせない生徒指導
- ・互いを認め合い自尊感情を高める集団づくり
- ・偏見や差別を見抜き、差別を許さない子を育てる人権学習
- ・障がい者理解教育を推進
- ・地域の自然や文化、人材に学ぶ体験学習の充実
- ・「篠原子の合い言葉」を活用し気持ちのよい生活を送る子どもの育成

挑戦3 ☆からだ☆ たくましい心と体を持った子の育成

「運動することが楽しい子ども」の割合90%以上および【暮らしやすく学びやすい身体づくり】に重点的に取り組みます。



【具体的方策】

- ・専門家の助言を得、暮らしやすく学びやすい身体づくりの推進
- ・新体力テストの結果分析から体育科の授業改善(校内研究)(投力を高める、体幹を鍛える等)
- ・健やかな体と豊かな心の育成を図る保健指導
- ・家庭や給食センターと連携し、基本的な食生活の定着
- ・家庭、地域、関係機関等と連携した安全教育、防災教育を実施
- ・地域と日常的な情報交換、連携を行い、登下校の安全確保

～ 地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり ～

人との出会い、地域の自然や文化との出会い、
体験的活動を大切にした教育の充実をめざします

しのっこ応援ボランティア

篠竹同窓会

篠原こども園・野洲北中学校等
との教育的連携

- ・篠原焼陶芸体験
- ・篠原糯栽培「篠原糯を育てよう」
- ・大豆栽培「大豆はかせになろう」
- ・読み聞かせ・図書室整備
- ・野洲養護学校との交流
- ・5・5交流
- ・昔遊び 等



令和5年度 祇王小学校の教育

学校教育目標

～愛とかがやきのある教育のまち・野洲～ 我が校の3つの挑戦

夢いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱいの祇王っ子

～ 夢をもち 仲間とともにがんばる たくましい子どもの育成 ～

- 特色1 祇王小学校は、夢いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱいの子どもの育成をめざして、アルマジロ運動を核にした教育活動を展開しています。
- 特色2 地域学校協働活動、教育後援会、妓王まちづくり推進協議会等、コミュニティスクールの推進による祇王に誇りをもつ活動を大切にした教育を進めます。
- 特色3 伝え合う力を学習活動と仲間づくりで育成しています。

確かな学力を身につける取組を行います。

(各授業で学びの7ルールの徹底)

目標児童評価 80%

(授業がよくわかる)

目標児童評価 80%

夢

挑戦1
学力向上

祇王の自然、文化、歴史、人材を活用した、「本物から学ぶ」・「体験を通じて学ぶ」教育の充実を図ります。

(地域学校協働活動との連携による
体験活動全学年実施) 実施率 80%

しっかり聞く子
主体的対話的な学び

教科指導・体験活動・
クラブ指導等

授業風景

稲刈り

アルマジロ運動

元気

挑戦2
たくましい
心と体

自らすすんで心と体を鍛える子どもを育て

ます。(あかるくいつでもさきにつづける

あいさつ運動) 目標児童評価 80%

(手洗い・うがい等の健康管理と運動習慣の

励行と定着) 目標児童評価 80%

あいさつ
手洗い
うがい
運動

表現運動

アルマジロは祇王の伝統に!

◎あいさつをすすんでしよう

◎ルールを守ろう

◎まっすぐ靴やスリッパをそろえよう

◎じかんを守ろう

◎ろうか右側を歩こう

目標児童評価 80%

目標教員実施評価 80%

挑戦3
温かい
仲間

笑顔

友だちを思いやり大切にできるように「ふわふわ言葉」いっぱいの学校にします。

(笑顔あふれる学級経営・よいところを見つけあえる
学級づくり) 目標教員評価 80%

(友だちと仲良くできる子どもの育成)

目標児童評価 80%

人権尊重イメージ
キャラクター
ふーちゃん

協働・学社連携・学校支援 ⇔ 祇王のよさを知り、地域に誇りをもつ児童へ

○「ありがとうの気持ち」を大切に

「学校給食感謝週間1月」「子育て報告会地域へ発表1月」スクールガードさんへ「ありがとうの会2月」

○「ぎおう」に誇りをもつ取組(地域学校協働活動)

「あそびばにでかけよう:1年」、「まち探検:2年」、「祇王のおすすめをさぐろう:3年」、

「わたしたちの野洲川:4年」、「ほほえみ祇王米:5年」、「歴史探偵団:6年」、

「季吟さんコンテスト:全校」、「地域防災訓練への親子参加」

野洲市立三上小学校 令和5年度 取組の重点

学校教育目標 やさしく、かしこく、たくましく生きる三上っ子の育成

めざす子どもの姿

- やさしい子 (豊かな心)
- かしこい子 (確かな学力)
- たくましい子 (健やかな体)

学校経営のコンセプト

- 子どもたちが元気に生き生きと学ぶ学校
- 教職員が澁刺として力を発揮する学校
- 家庭・地域の活力がみなぎる学校

第1チャレンジ ～「やさしい子」の育成をめざして～

◎「学級や学校をよくするために、進んで考えたり行動したりすることができる子ども」の割合を90%以上にする。(※よくできる子どもの割合を50%以上に)

- ①いじめ根絶をめざす特別活動の推進
 - ・児童会「三上っ子会議」、思いを出し合える学級
- ②地域の人・自然・文化に学ぶ時間の推進
 - ・コミュニティ・スクールの創造
- ③道徳科や人権学習、教育相談の充実
 - ・考え議論する道徳、「ストップいじめ学習」など

◇3UP運動 (やさしさUP)

あいさつ、お手伝い、やさしい言葉遣いなど



〈左義長体験〉

第2チャレンジ ～「かしこい子」の育成をめざして～

◎グループ学習などを通して、進んで考えたり話し合ったりすることができる子ども」の割合を90%以上にする。(※よくできる子どもの割合を50%以上に)

- ①「読み解く力」を育成する授業の創造
 - ・主体的・対話的で深い学びをめざす授業改善
- ②基礎・基本の定着を図る授業等の推進
 - ・学びの反復等、きめ細やかな指導の充実
- ③学びに向かう姿勢づくり、学習集団づくり
 - ・「学習の心得」による学びの基礎づくり

◇3UP運動 (かしこさUP)

家庭学習の取り組み方について



〈外国語活動〉

第3チャレンジ ～「たくましい子」の育成をめざして～

◎「体力づくりに向けて、進んで運動に取り組むことができる子ども」の割合を90%以上にする。(※よくできる子どもの割合を50%以上に)

- ①体力づくりの充実を図る時間の推進
 - ・「体力アップタイム」、「昼休み」
- ②健康づくりに向けた保健指導や食育の推進
 - ・歯みがき指導、食に関する指導の充実
- ③自ら命を守る安全・防災教育の推進
 - ・多様な「避難訓練」、「交通安全教室」の実施

◇3UP運動 (たくましさUP)

早寝・早起き・朝ご飯、運動、歯みがきなど



〈三上山登山〉

令和5年度 野洲小学校 元気な学校づくり事業

1. 事業の目的

「自ら学び」「自ら考え」「自らの思いや考えを伝え」「仲間とつながれる」児童を育成することによって、元気な野洲小学校、ひいては元気な地域社会を創造していくことが本事業の大きな目的である。

特に令和5年度についてはやすっこのめあて

『みんなが明日また来たいと思える学校に～やさしさ・協力・仲間を思う～』

の実現に向けて、児童会とも力を合わせて事業を推進し、児童が将来に希望を持ち、主体的に生きることができる力を育てることに重点を置く。

2. 事業の概要

(1) 校内研究の推進

【課題に気づき、分かり合い、共に解決しようとするやすっ子の育成～話し合い活動の充実を通して、主体的で対話的で深い学びに繋がる学習集団づくり～】を研究テーマとし、全校体制で取り組む。

○学級会活動を通して、主体的・対話的で深い学びにつながる学習集団を育成する。

・5月17日 校内研究全体会「学級会」研修会

・7～8月 夏季研修会

・年間6回の授業研究会

・今年度の研究の振り返り、まとめ、次年度に向けて

○総合教育センター小学校特別活動プロジェクト研究【「学ぶ意欲を引き出す学習集団」の形成を目指す小学校の特別活動～課題解決の過程の充実を通して～】への協力。

(2) いじめのない集団づくり

○滋賀県弁護士会によるいじめ研修の受講(5・6年生)

○たてわり活動の推進

○発達障害特性の正しい理解研修等により、多様性を認められる集団づくりの推進

○児童会による取組

(3) 多様な人々との出会いから、自身の生き方について考える

○6年生総合的な学習(ゲストティーチャーの招聘)

○コミュニティスクールの推進や学校応援団との積極的な連携

○たてわり活動や5・5交流等異年齢活動の推進

学校教育目標

澄んだ瞳の北野っ子の育成
～仲間とともに よりたくましく～

令和5年度 コミュニティ・スクールとしてスタート！

学校組織力の向上・・・全校児童をみんなで育てる

基本はおなじで活動を深化・進化・真価



(昨年度：開校40周年記念事業より)

めざす子ども像

- (知) 夢をふくらませる
- (徳) 感性を磨く
- (体) 心身を元気に育てる 北野っ子

めざす教師像

- ・学び続ける教師
- ・子どもに寄り添う教師
- ・率先垂範する教師

合言葉

「環境は人を創る 環境は人が創る」

活動の基本

「凡事徹底」(基礎基本を徹底的に取り組む)

学校教育目標の実現をめざして「みんなの学校」をみんなで創る。

本年度のポイント：教職員・児童・保護者・地域で「納得解」を見つけだす

本年度の学びの重点目標：学び続ける教師が夢をふくらませる児童を育てる

「考えることを楽しむ子どもの育成」

※「目標・目的」を明確にして、「方法・手段」と間違えない。

※今年度のコミュニティ・スクールでの活動は、新たな活動の創造をめざすのではなく、今までの活動を目標・目的に沿って、深化・進化させ、真価を問う。「熟考」と「試行錯誤」を基本におく。

※「今年度の挑戦」・・・3部会(「まなび」「こころ」「くらし」)の活動を中心として

「不登校や集団不適應を示す児童への個別最適な対応をめざす」

「いじめをなくす学校づくり」「わかりやすく、毎日楽しく勉強できる授業づくり」

野洲市立中学校

学校が元気に、地域も元気に!



【中主幼小中一貫教育目標】自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成
 【中主中学校 教育目標】心豊かでたくましい知徳体の調和のとれた生徒の育成

◎生きる力を育む教育の推進

《めざす生徒像》

- (知) ・知る喜びを持つ生徒
 ・思考する生徒
- (徳) ・感動する心を持つ生徒
 ・思いやりのある生徒
- (体) ・自ら鍛える生徒

【重点目標】

- ① 基本的生活習慣の確立
- ② 命・人権・法を尊重する態度の育成
- ③ 学力向上の充実

【合唱コンクール】



【マイスタープロジェクト】

◎教職員の資質の向上

《めざす教職員像》

- ・生徒に深く関わる教職員
 ～徹底的な生徒理解に基づく
 温かな支援と的確な指導～
- ・保護者と深くつながる教職員
- ・生徒のために一丸となって取り組む教職員

【研修例 OJTの取組】

教職6年以内の教員に中堅・ベテラン教員が
 自らの教員技術をミニ研修で伝承

- | | |
|-----------|------------|
| ① 人権教育 | ② 特別支援教育 |
| ③ 教育相談 | ④ 仲間づくり |
| ⑤ 読み解く力向上 | ⑥ 進路指導 |
| ⑦ PCスキル向上 | ⑧ 働き方・学校改革 |



【OJTによる技術の伝承】

◎地域とともにある学校づくり（幼小中連携・地域連携）

《地域貢献活動・地域学校協働活動》

生徒会、自治会、中主幼稚園、中主小学校と連携した活動を進めています。



【社協と連携したお弁当作り】



【キラキラ中主タウン計画】



【チューズデーあいさつ運動】

- これまでからの幼稚園、小学校との連携をベースにコミュニティ・スクールを導入し、地域学校協働活動の推進に努めます。
- 「生徒の元気を地域へ、地域の力を学校へ」双方向の取組により、「社会に開かれた教育課程」の実現を図り、ふるさと中主を愛する生徒の育成に努めます。

3つの柱

学力(がくりょく)

OODA(ウーダ)ループ
 みる : Observe
 わかる : Orient
 きめる : Decide
 うごく : Act
 見直す/みこす : Loop
 次へのステップ

人権(いのち)

人権尊重の風土づくり
 ○心に響く人権教育の実践
 ○個に応じた指導支援の充実
 ○積極的な生徒指導の展開
 ○教育相談の充実
 ・日常とつながる人権同和教育、道徳教育の推進
 ・生徒の思いを聴き、寄り添い、指導・支援する教育相談
 ・教職員研修の充実

集団づくり(つながり)

「学校評価」
 生徒が見せる姿
 生徒保護者アンケート
 教職員の評価
 学力学習状況調査

授業改善の取組

- 「わかる授業」の創造、実践
- 主体的・対話的で深い学びの追求
- 読み解く力の育成を踏まえた授業改善
- ICTの積極的な活用
- ・指導と評価の一体化
- ・授業研究、教科会の活性化
- ・OJTの積極的な推進
- ・授業規律の定着
- ・家庭学習の仕方の指導支援

3つのアクション

仲間づくりの促進

- 生徒と生徒の仲間づくり
- 生徒と教職員のつながりづくり
- 教職員同士の仲間づくり
- ・互いを認め合い、思いを出し合える学級・学年づくり
- ・自主性の尊重と自尊感情を育む実践
- ・真(深)の生徒理解を目指す実践
- ・生徒と共に汗を流し感動を共有できる教師像の追求

教育目標:心豊かでたくましい生徒の育成

【めざす生徒の姿】
 ・知性や感性を磨きあう生徒
 ・仲間と認め合い協力しあえる生徒
 ・たくましい意志と体力を育てあう生徒

【地域とともに子どもを育てる】
 地域学校協働活動、コミュニティ・スクールの取り組みの充実
 「社会に開かれた教育課程の実現」

研究主題

「反差別」をつらぬく学級・学校づくり

学力保障部会

生徒指導部会

特別支援・教育相談部会

生徒活動部会

人権同和教育部会

各部会 重点目標

- ①人権同和教育推進部会：互いを認め合い差別をなくす仲間集団づくり～自信と誇りをもって生きる生徒を育てる進路保障～
- ②学力保障部会：主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善～読み解く力の視点による単元構想と振り返りを活用した評価～
- ③生徒指導部会：自己指導能力の育成、「動く」「関わる」「伸ばす」
- ④特別支援・教育相談部会：(特支) 早期の実態把握・方向性の確立・支援開始、(教相) 安心して過ごせる居場所づくり
- ⑤生徒活動部会：自分を見つめ、仲間を理解し、お互いがかけがえのない大切な存在と感じ合える集団づくり

「生徒も教職員も楽しい学校 保護者や地域の方が安心できる学校」をめざす

2023の挑戦 ～創造・成長・発展のために「凡事徹底」を基本に～

本校は生徒指導の3部会(生活指導部・生徒支援部・特別支援教育部)を中心とした組織的対応を基本にして、「知」「仁」「勇」の発展プロジェクトを推進することで学校力の向上をめざします。

「CS(コミュニティ・スクール)元年」、地域との連携を深め、野洲北中にかかわるすべての人が誇りの持てる学校をめざします。



CHALLENGE 1 「知」の発展プロジェクト(授業づくり)

予測不可能な未来社会に対応できる確かな学力とそれらを活用して知恵に変えていける力を育てます。



CHALLENGE 2 「仁」の発展プロジェクト(集団づくり)

人権教育を根底に据え、道徳教育を推進し、豊かな人間関係の育成と一人ひとりが輝ける学校をめざします。



CHALLENGE 3 「勇」の発展プロジェクト(活動づくり+体力づくり)

CSを核として、地域で活躍する(地域の役割を果たし、頼りにされる)生徒づくりをめざします。

今年度の具体的取組の重点

合言葉は 「環境は人を創る 環境は人が創る」

活動の基本は 「凡事徹底」

「合言葉」と「活動の基本」を中核として、人権教育を根底に据え、相互理解を基本において、みんなでよりよい学校生活(学習状況、活動)を創り出す。

・状況を踏まえた活動づくり

目標: 学校評価(生徒)「①学校が楽しい」満足度90%(R4年度83%)

学校評価(生徒)「⑧学校行事」満足度95%(R4年度92%)

・主体的な学びを創り出す

目標: 学校評価(生徒)「②授業づくり」満足度93%(R4年度91%)

(教職員)「②授業づくり」満足度100%(R4年度100%)

・CSを軌道に乗せ、地域との連携を深める

目標: 学校評価(生徒)「⑩地域の一員として、地域行事に参加し、その役割を果たした」(新設)満足度80%

生徒がよりたくましく生きる力を獲得するために、

「仲間と共に」「想像力を働かせ」「自分の生活を通して」学び、地域とともに育つ生徒を創る!



(きれいに改修された野洲北中学校)

野洲北中の合言葉 環境は人を創る 環境は人が創る

めざす教師像

- ・学び続け生徒とともに成長する教師
- ・使命を自覚し、その職責の遂行に努める教師
- ・生徒、保護者に寄り添う教師
- ・生徒一人ひとりの理解に努め、温かさ厳しさを兼ね備えた教師
- ・「連帯、協同、感謝」を深める教師

ポイント

教育目標は「自主協同」 夢の実現をめざす 合言葉は「環境は人を創る 環境は人が創る」
活動の基本は「凡事徹底」 根底に据えるものは「人権教育」 3部会を中心とした学校力の向上

令和5年（2023年）5月発行

野洲市教育委員会

滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1

TEL (077) 587-6014

FAX (077) 587-3835